

平和こそ、自立・くらしのもと

6月議会 西澤議員の一般質問の概要

…くわくく後の機会…

、長寺地域総合センター改築用地取得について

「疑惑といわれる源」を解消した決断はおそかったが正しかった。問題の土地に固執した今回の背景、迷走した原因、買収価格設定の不明朗さなど教訓を導き出したのかなど見解を問う。

、健康でいきいき暮らすため

兵庫県 南光町や長野県 栄村の例で「8020運動」や「スローフーズ」のすすめ、「睡眠の重要性」など甲良町民が健康で暮らせる町興しともなる課題などをたず。

「睡眠を奪われた子どもたち」の著者 神山潤氏 東京北社会保険病院Ⅱの指摘を紹介。メラトニンの放出。夜10時以降も起きているⅡ3歳児：5割、5歳児：8割の実態。

、環境美化条例はとどこまですすんだか

ゴミ週二回収集を中心にゴミ行政の放置を直ちに改善を。

①、去るG・W・連休中の収集体制。②、個々回収の改善。③、空き町有地 町営住宅への不法投棄不法占有。④、一斉川掃除のゴミの処分―責任も体制を。

、市町合併について

彦根市の合併許可を待つ姿は、自治の縮小 放棄に受け取れる、自立の道をまじめに、全面的に検討したのか、合併協議「白紙」は何を白紙にしたのかなどを問う。

国民平和行進 甲良町入り

核兵器廃絶などを訴えて東京から広島まで行進する国民平和行進と日本生活協同組合連合会がよびかける 2004 年ピースリレーが滋賀県入りし、17日彦根市役所から八日市市に向けて出発。その内、通し行進者の兼頭剛二さん(22歳)ら4人が多賀町・甲良町役場を訪問。甲良町では山本日出男町長と宮本一起議長から「世界共通の悲願、イラクの情勢なども心配の種、一日も早く平和がおとずれるよう希望している」などと激励を受けました。

2つの行進団が県内のほとんどのコースを6日間いっしょに行進し、共同をひろげています

お元気ですか

のぶあきです

「冬のソナタ」が大流行のよう。ある雑誌の記事が目にとまった。東京学芸大学教授・君島和彦氏が言っているのは、韓国への関心が高まっていることを歓迎し「これを機会に、さらに進んで韓国の政府や市民がなぜ小泉首相の靖国神社参拝を抗議するのかについても、時間をかけてでもいいですから知ってほしい」と希望しながら、南北分断と日本の侵略がもたらした深い傷跡を背負う韓国事情とドフマの舞台を紹介。「春川(チュンチョン)は韓国最北端に位置する江原道(カンウォンド)の道都でたくさんの戦争のための要塞などがあります。スキー場のある龍平(ヨンピョン)リゾートの近くはゲリラ戦の舞台ともなった山々でもあるわけです」と。そして、侵略を免罪美化する象徴的な議論として「新しい歴史教科書をつくる会」をあげている。その対峙として、日韓の共通の歴史認識を形成しようとする研究者・市民で作る「共通教材づくり」の取り組みを紹介。ある女性がつぶやいた。「命を大切に教育というなら、政府・文科省が率先して『戦争反対』を實行してほしい。イラクに自衛隊を派兵したり、憲法9条を改悪して人殺し奨励の戦争ができるようにたくらんでいる自・公・民に審判をくだしたい」と厳しい口調。日本の岐路に立つた参議院選挙がいままさに始まる。読者のみなさんのご支援をお願いしたい。

訂正

247号の記事「加工・育苗センター問題いよいよ国会へ」中で「6月7日」は間違いで「6月3日」に訂正します。

甲良民報

NO248 2004年6月20日
発行：日本共産党甲良町支部
支部長 西澤伸明 在士463
Tel・Fax：38-4949
日本共産党のホームページ
<http://www.icp.or.jp>
【月3回発行：月初めか月末原則休刊】